



沼中だより

学校教育目標：「個」・「心」・「力」

7月号

2026年7月17日発行

逗子市立沼間中学校

校長 河原林 薫

○校長先生より○

夏休みを迎えるにあたって



先日はご多用の中、教育相談にご来校いただき、ありがとうございました。限られた時間ではありましたが、お子様の学校での様子やご家庭での様子について共有させていただくことができ、大変有意義な機会となりました。今後の教育活動にも生かしてまいります。

さて、4月の始業式から数えると、生徒たちは71日間の登校日を過ごしてきました。生徒がここまで頑張ってきたのも、ご家庭のあたたかい支えがあってこそだと感じています。ありがとうございます。

明日からは45日間の夏休みに入ります。学校のように時間割が決まっている毎日ではなく、自分で時間を考え、自分で行動を選択する生活になります。この夏休みが、自分自身を見つめ、時間をコントロールする力を育てる貴重な機会となることを願っています。

4月の入学式では、「失敗をたくさんしてください」と生徒たちに話しました。さて、この4か月を振り返って、生徒たちは失敗を経験できたでしょうか。失敗は、挑戦したからこそ得られる大切な経験です。そして、人は安心できる環境があってこそ、新しいことに挑戦し、失敗することができます。学校でも、生徒一人一人が安心して挑戦できる居場所づくりを大切にしています。ご家庭におかれましても、お子様が安心して失敗を重ね、その経験を次の成長へとつなげられるよう、ともに支えていければと思います。

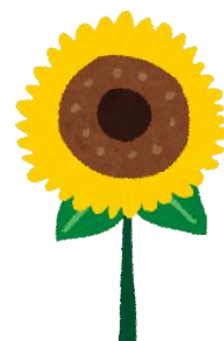
最後に、生徒たちへ一つだけ宿題を出しました。それは、「9月1日にまた学校へ来ること」です。夏休みの終わりになると、不安や悩みを抱える子どももいます。そんな時は、一人で抱え込まず、ご家族や学校、周囲の大人に相談してほしいと思います。そして、どんな気持ちであっても、まずは学校へ来てください。私たち教職員は、一人一人を温かく迎えたいと思っています。

45日間の夏休みが、生徒たちにとって心も体も成長できる充実した日々となりますよう願っています。そして9月1日、元気な笑顔で再会できることを教職員一同、楽しみにしています。

お知らせ★

マチコミでも配信いたしましたが、8月26日に東部地区学校運営協議会主催の「第3回ぬまま熟議」を本校で開催します。地域・保護者のご参加も受け付けております。ぜひご参加ください。沼間学区のこれからについて語り合しましょう。

※申し込みはこちらから⇒



○性教育講演会○

7月14日(火)、性教育の一環として、「命の授業」と題した講演会を実施しました。講師には、昨年度に引き続き、専門家の高野しのぶ先生をお招きしました。

発達段階や学年ごとの理解・関心に応じて内容を設定していただき、1年生は「境界線・二次性徴」、2年生は「交際・デートDV」3年生は「交際・性感染症」を中心に、ご講演いただきました。

生徒の皆さんは、真剣な表情で耳を傾け、性に関する正しい知識や考え方について理解を深める貴重な機会となりました。また、休み時間には、高野先生に質問をするため多くの生徒が集まり、熱心に質問する姿が見られました。

今回の学びを通して、自分自身や相手を大切にすること、自分の心と体は自分で意思決定すること、互いを尊重し合うこと、そして命の尊さについて改めて考えることができたことと思います。

今回の講演が、生徒の皆さんにとって、これから大人へと成長していく中で、命や性について正しく理解し、自分自身のこととして考えるきっかけとなれば幸いです。性について学ぶことは、恥ずかしいことや避けるべきことではなく、自分や相手を尊重し、命を大切にすることを育むための大切な学びです。

今回の学びを胸に、これからも自分自身や相手を思いやる気持ちを忘れずに育んでほしいと思います。

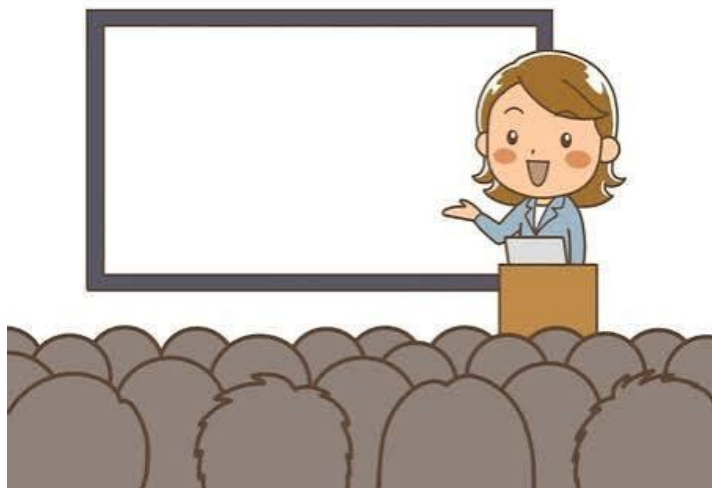
今後も学校では、命や性についての正しい知識と理解を深める取り組みを続けてまいります。ご家庭でも、ぜひお子さまとの会話の中で今回の学びについてお話ししていただければ幸いです。

(養護教諭 大竹 零夏)



【生徒の感想】

- ・自分もシャボン玉を割られたくないし、割りたくないと思いました。
- ・自分のことは、自分で守ることが大切だと思った。
- ・自分の気持ちや相手の気持はちゃんと話さないとわからないことなので、汲み取る努力やそれを素直に話せる環境を作ることも大切なことだと思いました。
- ・3億人の一人だから自分を大切にしようと思いました。
- ・「生きているだけで100点満点なんだ」と前向きに思うようになりました。



○夏休み前の各学年の様子○

<3年生>

3年生は、4月スタートから「修学旅行」、「体育祭」の行事で大忙しでした。やっと落ち着いたところで、6月から「朝読書・朝勉強」もスタート。受験生ということもあり、「今日は理科と社会のテストがある〜!」といって、「元素記号」の単語帳を懸命にめくったり、歴史の教科書とノートとにらめっこしたり。なかなか読書している人は少ない印象ですが、夏休み中は読書できる余裕も持てるとよいですね。おすすめは、「さくらももこ」のエッセイ。気軽に読めて、クスッと笑えて！エピソード5分程度で読めます、ぜひ。受験勉強の息抜きにピッタリです。

7月に入って、蝉の声も聞こえ始めたところで、3年生の様子を見に行くと、B組では「クワガタ」をゲットしていました。とてもかわいいですね。隣のC組は「数学」の授業で、自然と教え合いができていてとても素敵でした。A組は「音楽」の授業で、「能楽」の学習に取り組んでおり、私も大好きな「土蜘蛛」について調べている生徒さんがいてうれしかったです。

給食も4月より緊張がほじめて、和やかに各班食べています。話を聞いてみると「夏期講習が・・・」「岐阜のおばあちゃん家に行きます」などそれぞれの夏休みを迎えるようですが、体調に気をつけて良い夏休みを過ごしてほしいです。良い夏休みを！

(3年代表 鎌田優里)



<2年生>

保護者の皆様、お忙しい中、三者面談にご参加いただき、誠にありがとうございました。

面談では、前期前半を振り返り、お子様の成長や努力が見られた点、今後の課題などについてお話しさせていただきました。今回の面談で確認したことを、ぜひ夏休みや9月以降の学校生活につなげ、一人一人がさらに成長できるよう支えていきたいと思います。

また、エナジード保護者説明会にもご参加いただき、ありがとうございました。授業のねらいや学習のイメージを少しでも感じていただけたでしょうか。現在2年生では、エナジードを活用した課題解決学習に取り組んでおり、発表会に向けて準備を進めています。各クラスの班ごとに「問題解決学習テーマ30選」の中から一つのテーマを選び、原因を分析し、解決策を考え、プレゼンテーションを行う予定です。テーマは、「遅刻や忘れ物を減らしたい」「テスト勉強を頑張れる学年にしたい」「清掃をもっと充実させたい」といった学校生活に関するものや、「いじめや悪口をなくしたい」「一人ぼっちになる人を減らしたい」「SNSトラブルを減らしたい」などの人間関係に関するもの、「睡眠不足やスマホ依存を改善したい」といった健康・生活に関するもの、「ゴミのポイ捨てを減らしたい」「地域イベントを盛り上げたい」など、地域や社会に目を向けたものまで、多岐にわたります。1年生で取り組んだ「逗子調べ」や「横浜めぐり」の発表で培った経験を生かし、さらに一歩進んだ、根拠をもって考えを伝えられる発表になることを期待しています。発表する力はもちろん、相手の考えを受け止めながら聞く力も、学年全体で高めていきたいと思います。(2年代表 平元遼一)



<1年生>

40期の保護者の皆さま、お忙しい中、教育相談にお越しいただきありがとうございました。入学してからの3か月、どのように過ごしていたのか、そして、これから始まる45日間の夏休みを含めた今後を、どのように過ごしていくかが見える面談になってくれたらうれしいです。いつもお伝えしていることではありますが、このような期間中でなくても、気になることがあれば遠慮なくご連絡いただけたらと思います。

先日、国語の時間に図書室の佐々木さんによる「本のPOP講座」が開かれました。POPとはPoint of Purchaseの略でいわゆる「宣伝・広告」の意味があります。最近本屋に行く機会が減っている傾向があり、なじみの少ない人もいるかもしれませんが、これを機に読書に興味を持ってもらえたらと思います。

(1年代表 田中里香)



閉庁日のお知らせ

8月10日(月)～14日(金)は閉庁日となっております。

緊急時の連絡先

逗子市教育委員会 046-873-1111

※市役所にかけ、教育委員会(学校教育課)につないでもらってください。

